財団本部との意見交換（東北ブロック）＜収録内容＞

2016.1.24（13:00～16:00）

貸会議室プラザ八重洲北口（東京）

＜出席者＞

ＪＢＤＦ本部 田邊重光（会長） 浅野　勉（副会長） 稲川素子（副会長）

 小久保博史（専務理事）　齋藤忠八（事務局長）　大宮（事務局）

 西坂範之（副会長）は欠席

東北ブロック 桜中幸夫（宮城県） 増田優子（青森県） 大平政憲（岩手県）

 伊藤良則（秋田県） 板垣浩一（山形県） 志賀美津雄（福島県）

0:00’12” 小久保専務理事

0:03’55” 小久保 ― 桜中 ― 大平

0:04’46” 西部の問題について（小久保）

0:05’12” 日本インターの件（伊藤、大平、浅野）

 （浅野）９つの条件（NDCJ）、日本インターまでの経緯

0:10’17” 選手会での失言（浅野）

0:15’20” スーパージャパンについて

0:20’16” 東部日本ボールルームダンス連盟との協議状況について（小久保）

0:22’44” このような状況になった経緯（志賀 ― 小久保）

0:26’38” 財団の会員数と西部・東部の会員数（志賀）

本部 10,800名 ― （西部 2,145名、東部 5,858名） ＝ 2,857名

0:27’00” 役員は退陣して白紙にせよ（志賀）

 西部の除名を解き、元の財団に戻してほしい（志賀）

0:27’54” 赤字の責任は誰がとるのか？（志賀）

 （会長）「それは理事でしょうね」

0:31’42” 組織は何のためにあるのか？（志賀 ― 浅野）

0:35’02” スーパージャパンとプレミアカップ、両方に出場するように選手会と東部日本にお願いしてきた（稲川）

0:46’20” 我々が望むことはただ一つ、元の状態に戻すことである。（志賀）

 だが、今は双方とも引っ込みがつかない状態であろう。

 だから、今の役員に全員やめてもらって白紙の状態にすべきだ。（志賀）

0:47’14” 公益財団法人は法律と定款を遵守する必要があり、加盟団体は本部の定款・規定を守らなければならない。（小久保）

0:48’58” 小久保専務理事、稲川副会長にたしなめられる。

 私もいろいろな財団の仕事をしているが、ダンスのことはダンス屋さんに任せなければならないことがある。

 お役所ではないのだから「公益・公益」とあまり言うな。（稲川）

0:51’09” １１委員会について（小久保）

0:52’49” 今後、WDC・WDSFのどちらの方向で行くのか？（板垣）

 どちらにもつかずに行きます。（小久保）

 外郭団体を通してかかわりを持っていく。（小久保）

（WDSFの窓口はPDJ、WDCの窓口はNDCJ）

0:54’09” 桜本氏・中川氏と個別に会談をした。中川氏とは又会談の予定があるので、WDCの問題についてはもう少し待ってほしい。（稲川）

0:58’31” JBDF安西（元会長）とWDCドニーバーンズ氏の会談記録に８項目あるが、この中の何が問題だったのか？（板垣）

 日本の中でダンス文化を構築するためにはJDSFの協力が必要である。

 WDCとしては、JBDFがWDSFとつながっているJDSFと関係を持っていることが問題になっていると認識している。（浅野）

 今何をすべきか？（浅野）

 関係修復のために、東北は東部を動かす力があると思うので考えて欲しい。（浅野）

 東部が財団を離脱することに危機感を持っている。（浅野）

1:02’16 昔、財団が出来たことで青森県は大変な思いをした。やっと落ち着いてきたのに又か！という思いである。（増田）

1:04’00 理事会の改革・理事の選任方法を変える・県連盟との関係性を良くする・連絡を密にする・体協加盟の問題・DSCJ（クラス戦）の問題について

 DSCJには昨年の６月に加盟した。（小久保）

1:09’15” 財団が昨年発表した「JBDFからの緊急発表！」と題する「JBDF全日本ランキング構想」について。（伊藤）

 DSCJへは加盟したが、JDSFとは契約していない。（田邊）

1:14’07 上意下達！　財団の体質だと思うが、今まですべてのことが上意下達であり、我々の意見を吸い上げる部分がどこにもなかった。（志賀）

 今の財団の中には各県連盟はあるがPDI協会・アスリート協会・地域協会は定款上どこにもない。定款上教室もない。（小久保）

1:18’17” 県の大会に出場する選手が少なくなっている。（大平）

1:19’15” 組織のあるべき姿。会員の意見を集約して方向性を決める。理想があって将来の方針があるならば、まずそれを説明して皆が納得してから進めるべきである。（志賀）

 そういうコミュニケーションが必要である。（浅野）

 それについては今後気を付ける。（小久保）

1:22’24” 中部でのDSCJの問題。（小久保）

1:23’08” 今後、新しいことをするときは各県連盟の意見を取り入れて行うことを約束します。（小久保）

 各県でなくてブロックでも良い。（桜中）

 ブロック単位で意見を集約して行うようにする。（小久保）

1:24’41” 中部連盟のこと。（小久保）

 東北ブロックのこと。（桜中）

1:27’00” 今後、東部・西部・本部との関係はどうするのか？（大平）

 早めに修復していただきたい。（大平）

 呑むところは呑んで話し合いをしていかなければならないと思っている。（浅野）

1:28’55” 今まで、稲川さんにいろいろと努力してもらっているが、いまだに解決の糸口が見いだせない。（田邊）

 状況が悪い中、石原先生とお話をしたが、離脱という最悪の方向にいかないようお願いしている。（稲川）

1:30’29” 東部との関係を良好に保つ為には東北の皆様の協力が必要である。（浅野）

1:33’11” 業務執行理事会を機能させる。（小久保）

 広報委員会を作り、決まったことをお伝えする。（小久保）

1:25’51” それが大事である。我々がやっていることが皆様に伝わっていない。皆様が考えていることも我々に伝わってこない。（田邊）

1:36’45” 事務局の問題。（大平）

 会長の命を受けて元に戻すべく努力しているところであり、すでに何名かは戻ってきている。それまでの間は派遣社員で行っていたためにご迷惑をおかけした。（齋藤）

1:39’12” 地方組織への対応。上から目線である。（桜中）

 「JBDFからの緊急発表！」について、当分の間保留とする。として欲しい。（伊藤）

1:45’06” 会費の不払い運動についてどうなのか？（小久保）

 その件について、東部から言われたこともないし、そのような指示もしていない。（桜中）

1:46’58” 関東甲信越からの「上申書」と我々の出した「要望書」について。

 東北ブロックからの「要望書」は文書はできていたが出すのを控えていた。

 これ以上は待てなくなり提出した。我々ができることはこれ位しかない。（志賀）

 我々が直接意見を言えるわけでもないし、和解が叶わないのならば皆様に辞めていただいてゼロからスタートしたほうが良い。（桜中）

 参事会も東北から要望した。（大平）

 参事会の議事録もまだ送られて来ない。（桜中）

 議事録は出来がっているが、議長の印をもらってから送ります。（齋藤）

1:51’32” 稲川さんより要望があったので、金光選手会長に戻ってきてくれるように会長名で依頼書を書く。（田邊）

1:55’37 稲川さんのおかげでスーパージャパンカップに千葉県知事杯をいただけることになった。（齋藤）

1:57’16” 稲川さんが来てくれたことで、東部の人たちがストレートに会話ができるようになった。今まではそれが出来なかった。（田邊）

 会長は稲川氏に対し「頑張ってくれ、僕は稲川さんの言うことを聴くから」といった。

1:59’07” 小久保氏の「今度は私と浅野先生がそちらのほうに行きますから」という言葉を受けて会長が「そうだよ！行かなきゃだめだよ！」といった。

2:00’00” 終わり（収録時間：２時間）MP3ファイル

 ファイルを右クリックしてWindows Media Player で再生するを選択